

# ディテール

159

季刊-冬季号  
2004-JANUARY

DETAIL

建築の詳細

特集

## 図面で読み解く 「居心地のよい木造住宅」

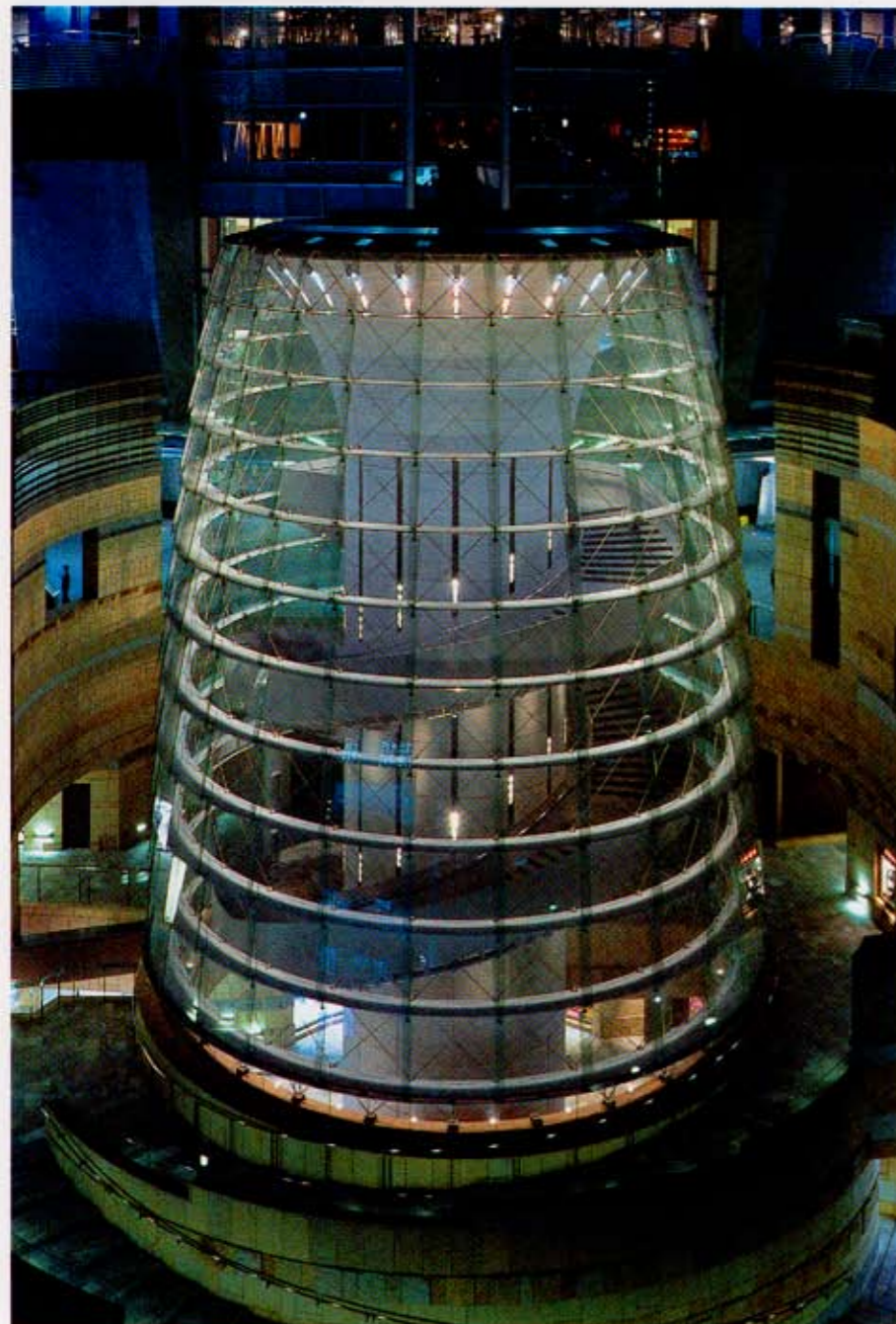
小特集

## カウンターとキャビネットできめる オープンキッチン



# ケーブルネットと水平楕円リングによるガラスコーン

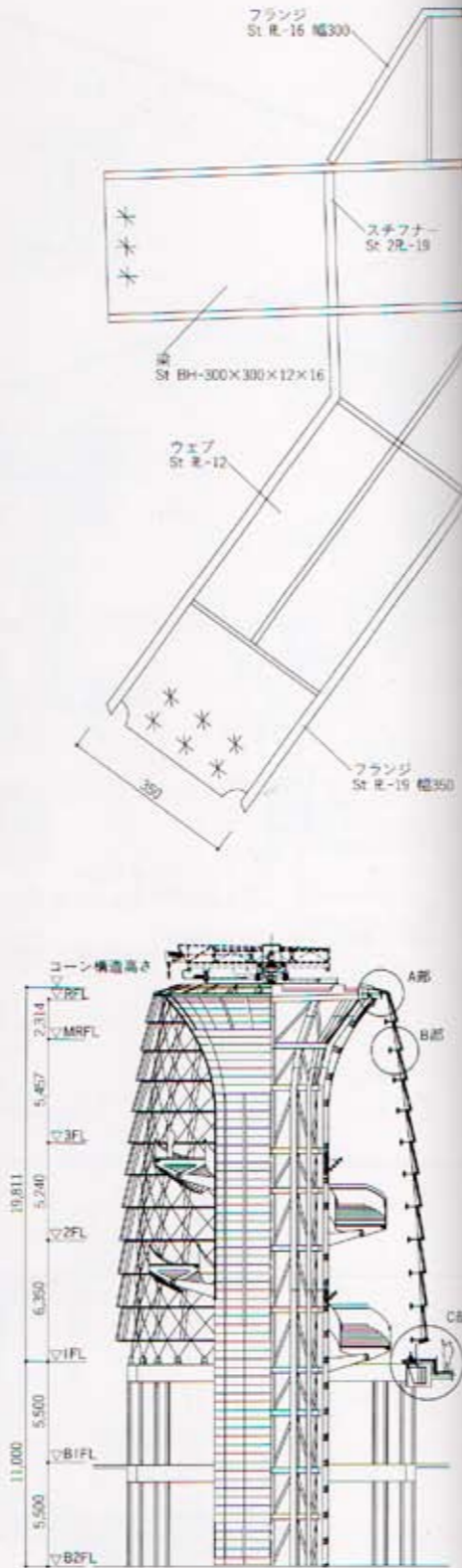
ミュージアムコーン 森ビル, グラックマン・メイナー・アーキテクト, 入江三宅設計事務所, 仁藤喜徳・藤川由美+DMP  
Glass cone using a cable network and horizontal elliptical ring by Mori Building Co., Ltd., Gluckman Mayner Architects, IRIE MIYAKE ARCHITECTS & ENGINEERS, Yoshinori Nito・Yumi Fujikawa+DMP



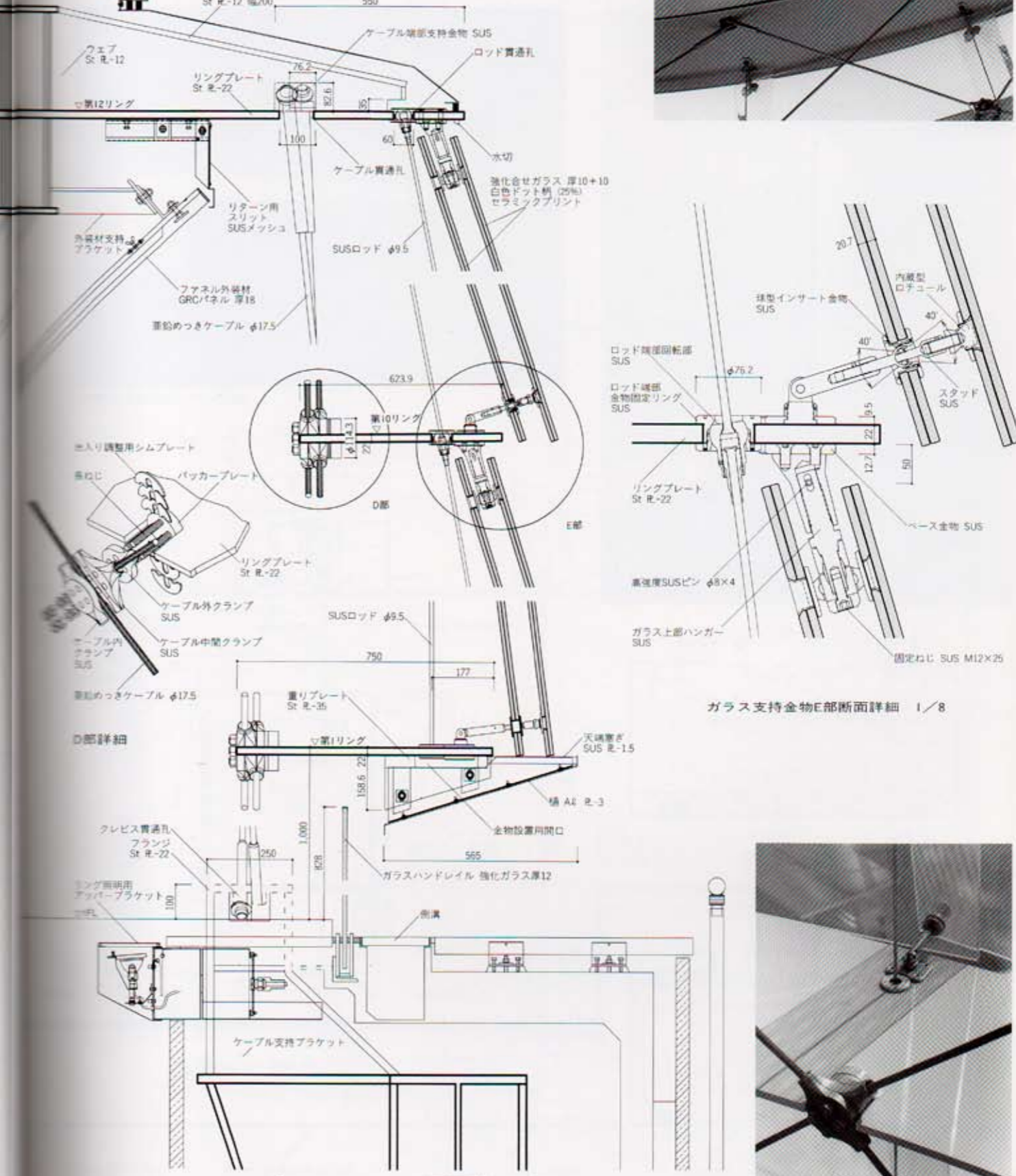
(この写真のみ撮影: 上田安)

ミュージアムコーンは、単層ケーブルネットと12枚の水平楕円圧縮リングをクランプ金物で接合することによって構成されるケーブルネットシェルと、ケーブルからの反力、建物の重量を支えるファネルによって構成されている。ファネルはGRCパネルで覆われ、スリット部分には空調吹出口、照明器具が仕込まれ、柱からの片持ちプレートで構造荷重を支えている。外装の強化合わせガラスは、リングから持ち出された主物によって点支持され、リングと切り離

された浮遊したイメージを持つ。ガラスは平面的にも断面的にもジグザグに取り付けられ、ファサードの表情に変化をつけると同時に、ガラスが重なり合うことで雨水の浸入を防いでいる。リングを縦に繋ぐロッドはガラスの自重によるリングの変形を防ぐとともに、リング外側のエッジを安定させる機能を持つ。白色ドット柄のセラミック焼付けガラスを外装に使用することで、昼と夜でまったく異なる表情をつくり出している。



断面 1/400



ケーブルネットシェルA~C部断面詳細 1/15

